

## 職員向け 放課後等デイサービス評価表(放デイ②)

令和 6年 3月  
ととのキッズ

業所名：ととのキッズ（放課後等デイサービス 単位 職員数：7名 回収数：7名 回収率：100%  
調査期間：令和6年2月14日～3月8日 公表日：令和6年4月5日

◎ この「事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表」は、放課後等デイサービス 単位2に配置する職員で行った自己評価です。

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	失っている点、課題や改善すべき点	改善目標・工夫している点
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	2	4	0	・個別のスペースを作りたい。 ・なるべくスペースを広くできるように工夫しているが限界がある。	・部屋を2つ使うなど、静と動の活動を分けるように工夫していますが、また法人内の様々な場所の活用して活動をしています。
	② 職員の配置数は適切であるか	2	4	1	0	・職員間で連携をとりながらなんとか乗りきっている。	・基準配置に加えて3名の職員を配置していますが、利用人数が多い時は、他事業所単位からの応援体制が必要かと感じています。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	1	5	0	・出入り口に段差あり。 ・利用児の移動の際に移動しづらい。場所により段差や砂利で車椅子が進むのに大変なところがある。屋外においては、砂利道や段差が多く、車椅子移動が難しい。	・作業療法士の介入もあり、適切な高さや移動ができるよう努めております。今後も状況把握に努め適宜検討してまいります。
業務改善	④ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	1	0	2	・チーム内で情報の共有を行い、課題に対して話し合い、意見を出し合い、助け合う雰囲気がある。	・ヒヤリハット、事故報告で挙がってきたことは、皆で共有し改善策を話し合っています。また1か月後のふりかえりもおこなっています。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	1	・初めてなのでよくわかりません。 ・活動内容など情報発信の不足。 ・お迎え時に詳細をお伝えしたり、活動作品を展示したり、持ち帰れるようにしたり、お便りの写真を増やすなどして、活動の様子が伝わりやすいよう視覚的に訴える工夫をしている。	・2月～3月に毎年アンケートが実施されています。その結果を業務改善を目的とした会議に挙げ、改善方を立案しています。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	0	3	公開しているのかどうかも初めてなのでよくわかりません。	・法人ホームページで公開されています。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1	0	3	外部評価が実施されているのか、されているとしたらその評価はどうなのか、知らないのかわかりません。	・外部評価の実施には未だ至っておりません。次年度の課題として挙げていきます。
⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	0	0	・利用児やその家族に関わることに關しての研修内容をされているのは、非常に得難く、自身でも今後に向けて積み上げていく良き基準となっています。 ・研修で学んだことを活動内容に反映させることができる。 ・職員の支援スキルの向上や、療育内容の充実に関わっていると思う。	・事業所の各単位毎に毎月定期的を実施されています。 ・法人全体で月に1回研修が実施され、定期的に動画等を視聴し、研修を行っています。	
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1	0	0	・少しづつ利用児の状態把握も出来つつあり、課題抽出し、必要なアプローチに結び付けていきたいと思っています。 ・信頼置ける児発管との連携がとれており、個別支援計画などをともに	・児発管のモニタリングにより保護者のニーズを把握し、カンファレンスの実施およびサービス計画に反映させています。日々の振り返りや気付きは、利用毎に記録をおこなっています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1	0	2	・個別的なアセスメントツール評価実施に関しては、実施適用が困難とされています。全体プログラム実施の中では適切な評価結果を得ることが難しい状況です。 現状は諸種のプログラム実施時の観察、運動プログラム実施時の反応、多人数・小人数実施時での差異の有無、での評価を行っています。その内容と、学校での状況、家庭での状況、それぞれ過ごす時間での働	・主に利用開始時にCOPM評価を用いています。初回時にはリハビリ専門職による聞き取りを実施させていただき発達の評価を行っています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	0	0	0	・最初はOTスタッフに原案を提示し、了承できれば全スタッフに聞かせるというスタンスで臨んでいます。週ごとに担当者を割り当て、活動の偏りがないようにしているが、担当ごとに分断されることのないよう、活動内容は意見を出し合い、準備も協力しあっている。 ・職員みんなで話し合いながら計画	・チームとして相談しながら立案できています。

提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的が同じでも、プログラム内容を変えていかないと利用児に飽きられるので、工夫をしています。利用児が飽きることなく楽しみながら活動できるように、目的は見失わずに、活動プログラム内容に変化を持たせている。</li> <li>・変化の少ない継続的な取り組みについては、アプローチ方法に変化を持たせている。</li> <li>・季節に応じたプログラムになるよう工夫している。</li> <li>・先を見据えた計画作成を意識している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児が、飽きずに楽しく活動できるように変化を持たせています。</li> <li>・健康管理、運動、作業面、共に工夫しています。</li> </ul>
適切な支援の提供	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	0	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私自身の勤務時間に一定の制限があり、終日対応することが無く、きめ細やかな対応は出来ていません。今後は各スタッフとも相談し、プログラムに反映させていきたいと思っています。平日は、放課後であるため利用児に学校からの引きずりや疲れが多く見られる。それを踏まえた上での時間配分と活動内容にしている。</li> <li>・休日は朝から一日過ごすことになるため、午前と午後の活動の流れとバランスを図り、プログラム活動と自由時間とのメリハリをつけている。</li> <li>・長期休暇においては、季節の気候が大きく関与することもあり、利用児はもとより職員も健やかに長期期間の活動を続けることが出来るよう、活動内容のバランスを図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休日や長期休暇は可能な範囲で地域資源を活用した療育に努めています。ここに応じた対応ができるよう心がけています。</li> </ul>
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別に対応している利用児の関わる際のプログラム実施状況に於いて、自己肯定感が下がらず、他児と共有できる内容で実施しています。</li> <li>・個別活動を専門職の方の力を借りながらももう少し充実させたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も療育の充実に努めたいと思ふ。</li> </ul>
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動プログラム以外のプログラム実施前には、打ち合わせあり、支援内容、役割分担が適時されています。</li> <li>・リーダーが主となってしっかり話し合いができています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日スタッフミーティングをおこない、役割分担の確認をおこなっています。</li> </ul>
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	0	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日の振り返りには参加出来ないが、後日伝聞される事で共有出来ている。</li> <li>・終業間際までお迎えがあるため、翌日の朝に行っている。</li> <li>・振り返りもみんな情報共有しな</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その日の振り返りが時間的に厳しい場合が多く、緊急性が高いものは、担当者より管理者へ報告をおこない、共有に努めています。</li> </ul>
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援の検証は、ケースカンファレンスで主に実施しています。</li> </ul>
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	0	不定期ではあるが、各動作時の動きをチェックしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリングは定期的におこない、カンファレンスや個別支援会議につなぐ仕組みをとっております。</li> </ul>
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6	0	1	0	恥ずかしながら各ガイドラインの総則自体を理解していない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドラインの学習を実施していきます。</li> </ul>
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	0	1	担当者会議参加者についての理解不足があります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発管・保育士・リハビリ専門職・社会福祉士など課題に応じた職種が参加に努めています。</li> </ul>
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	0	1	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や、送迎時に学校より下校表をコピーさせて頂いたりしています。送迎時を活用して可能な範囲で学校での出来事共有につとめています。</li> </ul>
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	0	0	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児の受け入れ実績なし。</li> </ul>
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	0	0	1	現状は実施出来ていません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者会議、事業所間での引き継ぎ等はおこなっています。</li> </ul>
	24 事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	1	1	2	現状実施出来ていません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・該当事業所はまだ卒業実績がない為実施していません。</li> </ul>
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	0	1	3	良くわかりません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の療育センター連携室とは、ご紹介頂いた事例に限りませんが、支援をおこなう上での助言を求め連携をおこなっています。</li> </ul>
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	1	2	1	コロナ禍で連携が少なかったが、これから少しずつ活動を増やしていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内の学童クラブとの交流、餅つきなどの法人内イベントを通じた交流を行っています。地域の公園等での交流も積極的に行っています。</li> </ul>

この連携	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	1	1	3		・積極的に参加に努めています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	1	0		・連絡帳や電話での共有に努めています。また保護者お迎え時に利用児の様子を伝えていきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者向けの学習会の機会が設けられているか	5	0	0	2		・随時療育相談は対応可能な体制を整えております。
保護者の説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	1		・契約および報酬改定時に、職員によりおこなっています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1	0	0	運動時の痛みなどにおいては連絡帳に記載している。	・連絡ノート等への記入や電話での相談実績があります。また保護者から相談を受けた時には管理者へ報告し、相談内容に応じて各専門職が対応するよ
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	1	0	0		・今年度は交流会・お楽しみ会・学習会を開催しました。次年度も引き続き計画していきたいと思っております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	1		・苦情については、すぐに管理者に報告し、迅速な対応が出来るようにしています。また窓口や解決責任者を設置し、丁寧な対応に努めています。
	34	定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	1	0	子どもたちの写真を取り入れながら、活動の内容がわかるようなキッズ便り作成を心がけている。	・毎月1回のお便りやFacebook等で発信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	7	0	0	0		・個人情報の同意書に加えて、SNS発信、掲示物など状況に応じての同意も得るように体制を整えています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	0	働きかける中で、良い反応が得られる場面などがあれば、家庭においても工夫をしてみてください、と伝え	・笑顔と節礼を重んじてコミュニケーションをとよう努めています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	1	0	2		・地域のボランティアの来訪に加えて、地域資源を活用した療育プログラムの実践に努めています
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1	0	1		・業務マニュアルを作成し、職員の回覧および新人研修時に周知をはかるように努めています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	0		・年に2回は、利用児も参加して定期的に行われています。それに加えて例年大雨を想定した訓練や、防災の日に必要な物品の確認をおこなっています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0	0		・日々児発管より指導が入っており、ヒヤリハットシートや気付きチェックシートの活用が開始されています。また運営規定に虐待防止対策委員会の設置と、年に2回以上の研修が実施されて
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	0	0	0		・体制としては、止むを得ない状況が発生した場合は、事業所から法人内の医療安全委員会に上申し、共有する仕組みになっています。さらに保護者への説明は、相談支援事業所等の共有のもと実施されます。身体拘束同意書作成の手続きを踏む場合は、理事長の許可および保護者への同意をおこなうよ
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	0	0	0		・アレルギーの有無を職員全員が周知しており、おやつを調理される栄養課には、利用開始前に文書で情報提供と、毎日の電話連絡でおやつ個数とアレルギー児童の有無について共有を
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	0	0		・ヒヤリ・事故報告書は、事業所内で全て回覧および共有しています。

○この放課後等デイサービス自己評価表は、職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。